



沼津西ロータリークラブ週報



夢をかたちに

2008～2009年度
第 18 巻 13号
2008年10月02日

● クラブテーマ ●

目指そう、増強と四つのテスト

■■ 本日のプログラム ■■

会員卓話 名古屋輔君

例会場：ブケ東海 例会日：毎週木曜日
(12:30点鐘) 第三木曜日：18:30

事務局●TEL&FAX 055-967-2152
事務担当者●川口恵美
Eメール●numawestrc@ny.thn.ne.jp

◆◆第 824 例会 会長挨拶◆◆

鈴木泰次会長

本日は「ロータリーの友」8月号に載っている水と健康について話をしてみたいと思います。河口宏太郎農学博士の話を抜粋したものです。

日本は今まで水に恵まれた生活をしてきたと思います。しかし、それが今変わりつつあるということで、日本の水事情について歴史的に水道水の作り方がどう変わってきたか話をしたいと思います。水道は大昔から存在します。約4000年前、世界で4大文明が起こりました。エジプト、メソポタミア、インド、中国。大きな川のそばにたくさんの人が住んで文明圏をつくりました。この4大文明圏全てが水道を造っています。ローマ帝国では上水道だけでなく、下水道まで造っています。日本でも、1300年前、奈良時代に水道は存在しています。しかし、昔の水道は今の水道と違い、飲み水を都市に運んでくる用水路でした。飲める川の水を集落に運ぶ。これが水道だったのです。

このように飲める水だけを運んで来るだけで済んだ時代は良かったのですが、やがてそうはいかなくなってきました。18世紀の末、ヨーロッパで産業革命が起きました。30年もすると、工場の排水が川や湖を汚し、そのままの水は飲めなくなりました。この飲めなくなった水を処理し飲めるようにするのが、近代的な水道の始まりです。今から200年前イギリスで始まりました。これは自然の浄化作用を利用したものです。砂、小石、微生物を入れて濾過層を造り水をゆっくり流し、微生物

物に汚れを食べさせてきれいにし、その水を供給するのです。イギリスではこの処理法は理にかなっているとし、今でも使われています。日本では、100年以上前から各地に造られ始め徐々に水道水の生活に切り替わってきました。しかし今では昔ながらのろ過方式で浄水しているところはほとんどなくなりました。日本では高度経済成長期に入り、人口が増えて都市に集中し、水の消費量が急激に増えてきます。それ以前は一人の人が一日に消費する水の量は50リットル位でしたが、それが200リットル位になりました。高度成長期には、工業用水、家庭での使用排水、農業も化学肥料、農薬等を使い、それが川に流されていました。汚染物質が大量に川に流れ込むようになりました。

そこで、アメリカで使われている化学物質を利用し汚れだけを除去する方法をとることにしました。ポリ塩化アルミニウムを水に溶かすとイオンが発生し水に溶けている物質がアルミニウムと結合して、凝集反応を起こし汚れを水から簡単に除去でき大量の水が速く出来ます。しかし、排水をきれいにし川に戻すという考えが欠落していました。そのために、原水に微生物が繁殖しアルミニウムを微生物が吸収してアルミニウムが充分機能しません。そこで先に塩素ガスを使い微生物を殺し、先に汚れを除去して、また塩素ガスで殺菌する。塩素を大量に使っています。今では1ppm以下にしているようです。

話はまだ続きますが時間の関係上、次の機会に話をしたいと思います。

会 長	鈴木泰次	幹 事	久松 但
会報委員長	名古屋輔	編 集 者	重光 純

10月のプログラム

825回	12:30点鐘	米山記念館	外部卓話
10月 9日(木)	ロータリー財団委員会	移動例会	
826回	18:30点鐘	ブケ東海	イニシエーション
10月16日(木)	ヨンスピーチ	杉山真一君・重光純君	
827回	12:30点鐘	ブケ東海	外部卓話
10月23日(木)	奉仕プロジェクト委員会		
828回	12:30点鐘	ブケ東海	
10月30日(木)	クラブフォーラム		

11月のプログラム

829回	12:30点鐘	ブケ東海	外部卓話	ロータリー財団学友会委員	澤口さやか様
830回	12:30点鐘	ブケ東海	イニシエーション	ヨンスピーチ	尾島康夫君
831回	18:30点鐘	ブケ東海	地区大会報告	会長・幹事・新会員	
832回	12:30点鐘	ブケ東海	外部卓話	ぬまつ燦々大使	作家 鈴木英治様

出席委員会報告

●ビジター

- 1.内田文喬様：沼津北RC
- 2.白鳥 篤様：沼津北RC

★出席報告（会員総数25名）

例 会	会員数	出席数	MU	出席率
824 回	25名	22名	-	88.00%
822 回	26名	18名	2名	76.92%

●欠席者(6名)

宮口雅仁、芹澤和子、鈴木博行、吉川直人

●他クラブへの出席者

芹澤和子、土佐通孝、渡辺亀一（9/29 沼津柿田川RC）

●スマイル報告

1. 宮島賢次：誕生日のお祝い有難うございます。
2. 杉山 了：誕生日のお祝い有難うございます。
3. 宮島賢次：結婚記念日のお祝いありがとうございます。
4. 後藤 昭：結婚記念日のお祝いありがとうございます。
5. 久松 但：結婚記念日のお祝いありがとうございます。
6. 鈴木良則：久しぶりに、秋晴れとなりました。
7. 名古良輔：ベトナムでの国際奉仕活動に、ご支

援いただき、ありがとうございました。

8. 杉山壽章：バッジを忘れました。

9. 佐野 稔：所用につき早退させていただきます。

会員卓話

ベトナム支援の旅を終えて

名古良輔君



今年はいあい眼科クリニックを開業して20年目になります。何か記念になることを、と思っていた時に、ある方からベトナム支援の旅を勧められました。家族の賛同も得て家内と娘、計4人で参加しました。同時に若干の寄付もさせて頂きました。また、沼津西ロータリークラブの皆様からいただいた支援金で、学校に文房具を寄贈することもできました。

会の中心的役割を果たされている北村元さんは、朝日テレビの元ハノイ支局長などを歴任され、米軍による枯れ葉剤散布による被害者支援をライフワークの一つにされています。公式な統計はないものの、440万人を超える被害者が、米国による補償を何一つ受けられないまま、今なお苦しい生活を強いられています。最近では第三世代に約20万人もの障害者が生まれている、という報告もあります。今回は、障害者施設を二カ所訪問し、支援物資を手渡すと共に、奨学金も贈呈しました。また私は眼科医として眼科検診も行い、寄付していただいた医薬品も贈ることができました。

さらに今回初めて、枯葉剤による障害者を持つ五件の農家に自立のための一助として子豚を贈りました。ある農家では、後遺症から農作業の出来ない父親と、視覚、あるいは知的障害を持つ四人の子ども達を抱えて、一日二度の食事で暮らす母親にも会いました。こうした人々に家族と共に直接支援の手を差し伸べることが出来たことは、一生の思い出となりました。

障害を持つ全ての子ども達に、医療と教育の光が一日も早く届くことを心から願ったベトナムの旅でした。

幹事報告

1. 他クラブの例会変更等

①御殿場ロータリークラブ

10月16日（木）観月会 於：駿富苑 18:00～

2. 報告・連絡事項

①ガバナー事務所より

第7回ロータリー全国囲碁大会開催のお知らせ

- ・日時：2008年11月29日（土）
- ・会場：日本棋院会館（東京・市ヶ谷）1Fホール
- ・主催：ロータリー囲碁同好会日本支部
- ・主催：第2580、2750両地区
- ・ホスト：東京ロータリークラブ
- ・登録料：7000円（昼食代、賞品等含む）

理事会報告

1. 協議事項

①11月プログラム クラブ管理運営委員長 井上

武雄君、プログラム担当 久松但君

- ・クラブ管理運営委員会の原案どおりとする

②11～12月の座席表について クラブ管理運営委

員長 井上武雄君、SAA 宮島賢次君

- ・名簿順とする。

③ 10月30日クラブフォーラムテーマの件

- ・「インターアクトクラブ設立について」とする。
また、設立実行委員会の委員として、鈴木博行君・杉山 了君・鈴木泰次君・久松但君・井上武雄君・杉山壽章君を選出する。

④4クラブ対抗親睦ゴルフ大会に対する資金援助の件

- ・昨年同様、30,000円補助する。

⑤GSEクラブ負担金の件

- ・静岡第3分区の会長幹事会で決定した1人1,000円の負担金は、クラブから支出する。

⑥11月外部卓話（11月6日、11月27日）御礼の件

- ・11/6は、交通費3,000円、謝礼10,000円とし、
11/27は10,000円とする。

⑦バナーの件

- ・バナーが残り3枚となっているが、6月までに購入するか否かは改めて決定する。

⑧吉川直人君退会の件

- ・9月末での退会を認めるものとする。

⑨吉川直人君退会に伴う理事選出の件

- ・吉川直人君退会に伴い、理事として杉山壽章君を選出し、奉仕プロジェクト委員長・副幹事を委任する。

以上①～⑨を一括承認

編集後記

初めて編集者をさせていただきました。不慣れなため若干手間取りましたが、何とか形になっているのではないかと思います。とはいえ、これは私の勝手な思い込みと思われますので、何か不都合な点がございましたらご指摘いただけますと助かります。

週報作りに関与することにより、ロータリークラブに対する理解が深まるのではないかと、勝手に期待しています。

（文責 重光 純）



沼津西ロータリークラブ週報



夢をかたちに

2008～2009年度
第 18 巻 14号
2008年10月09日

● クラブテーマ ●

目指そう、増強と四つのテスト

■■ 本日のプログラム ■■

米山記念館 外部卓話
ロータリー財団委員会 移動例会

例会場：米山記念館 (12:30点鐘) 例会日：毎週木曜日
第三木曜日：18:30

事務局●TEL&FAX 055-967-2152
事務担当者●川口恵美
Eメール●numawestrc@ny.thn.ne.jp

◆◆第 825 例会 会長挨拶◆◆

鈴木泰次会長

本日は米山梅吉記念館での例会でありますので、皆様ご存知とは思いますが梅吉翁の略歴を述べてみたいと思います。

梅吉翁は慶応4年(9月改元して明治元年)2月4日大和国高取藩藩士和田竹造の三男として、同藩江戸中屋敷内にて誕生しました。明治5年父竹造の死後、母うたの実家である三島市で幼児期を過ごし、明治12年12歳の時に駿東郡長泉村の米山家の養子になりました。16歳には上京し勉学に励みました。21歳の時渡米し働きながら大学に通い政治学・法学を学び28歳で帰国し、30歳で「合名会社三井銀行」に入社しました。42歳で常務取締役になり三井銀行の経営に当たりました。

大正9年に日本にロータリークラブを導入し、東京ロータリークラブを創立し会長となりました。56歳で三井信託銀行株式会社を設立し社長になりました。67歳では財団法人三井報恩会理事長となり社会事業、文化事業への大規模な援助を行います。昭和13年71歳で勅撰により貴族委員議員となります。昭和20年78歳で、戦後初の国会に登院し、これが最後の公的活動となりました。昭和21年4月28日満78歳で駿東郡長泉村にてご逝去されました。

話は変わりますが、今世界の経済が大変な状況に陥っています。アメリカのサブプライム問題に始まり、アメリカの大手金融機関が破綻し、次はどこが破綻するかと疑心暗鬼になっております。株価は暴落し、底が見えない状況になっております。金融機関だけではなく、一般の事業会社も資

金の融通がつきにくくなっており、そのために倒産する企業が多くなるような気がします。世界大恐慌の始まりです。遅まきながら、このままでは世界経済が破綻しかねないとうやうや、アメリカをはじめとする各国政府、中央銀行が対策を打ち出しましたが、その効果がどれほど上がるか疑問視されています。いずれは税金を使い金融機関等に資本注入することになるでしょうが、どこまでこの危機が和らぐかわかりません。これは投資家だけではなく、すべての人々の暮らしに影響してきます。

年末にかけて破綻するものが増えないよう、また早く回復するよう祈るばかりです。

10月のプログラム

826回	18:30点鐘	ブケ東海	イニシエーション
10月16日(木)	ヨンスピーチ	杉山真一君・重光純君	
827回	12:30点鐘	ブケ東海	外部卓話
10月23日(木)	奉仕プロジェクト委員会		
828回	12:30点鐘	ブケ東海	
10月30日(木)	クラブフォーラム		

11月のプログラム

829回	12:30点鐘	ブケ東海	外部卓話	ロータリー財団学友会委員	澤口さやか様
11月6日(木)					
830回	12:30点鐘	ブケ東海	イニシエーション	ヨンスピーチ	尾島康夫君
11月13日(木)					
831回	18:30点鐘	ブケ東海	地区大会報告	会長・幹事・新会員	
11月20日(木)					
832回	12:30点鐘	ブケ東海	外部卓話	ぬまづ燦々大使	作家 鈴木英治様
11月27日(木)					

会 長	鈴木泰次	幹 事	久松 但
会報委員長	名古屋良輔	編 集 者	重光 純

出席委員会報告

●ゲスト

1. 杜 震（ト シン）様：米山奨学生
2. 小野 毅様(三島RC)：米山奨学生カウンセラー

●ビジター

10月9日に、ブケ東海にて記帳された方

1. 勝呂 衛様：沼津RC
2. 小木曾誠様：沼津北RC
3. 山口和也様：沼津北RC
4. 山田賢一様：沼津北RC
5. 望月照元様：沼津北RC
6. 萩田勝雄様：沼津北RC

★出席報告（会員総数25名）

例 会	会員数	出席数	MU	出席率
825 回	25名	18名	-	72.00%
823 回	26名	24名	1名	96.15%

●欠席者(7名)

尾島康夫、佐野 稔、重光 純、西島邦彦、杉山
壽章、鈴木博行、渡辺亀一

●他クラブへの出席者

鈴木博行（10/7 沼津北RC）

●スマイル報告

1. 鈴木良則：奨学生の卓話を楽しみにしています。
ご苦労様です。
2. 久松 但：井上さん、4クラブ合同コンペ幹事
ご苦労様です。

外部卓話



米山記念奨学生 杜 震 様

みなさま、今日は。米山記念奨学生の杜 震と
申します。現在は日本大学国際関係研究博士課程
在学中です。中国の温家宝首相と同じ天津の出身
です。

天津はあまり日本人には知られていないよう
ですので、簡単に紹介いたします。北京より120キ
ロのところにあり人口が1,000万人の大都会です。
ちなみに8月のオリンピックでは、サッカーの試
合が行われました。名物は甘栗と中華まんです。
日本で有名な天津丼は見たことがありません。

私は2001年4月に交換留学生として、茨城キリ
スト教大学で学ぶために来日しました。日本は工
業大国であると中国で学びましたので、日本の環
境汚染もひどいのではないかと感じていました。
実際の日本を見て、いたるところに緑が見えて、
自然環境の保護と工業の発展とがうまく共存して
いることに感心しました。歴史教科書問題、靖国
参拝問題などのために、2004年から日中関係は悪
化しました。在日の中国人である私は、この不正
常な関係を痛感しました。いかにして日中関係を
正常に戻すことができるかという問題を解くため
に、国際関係の大学院に進学しました。大学院の
授業を受けて、日中関係は政治、軍事、経済など
が絡んでおり、とても複雑な二国間関係だと分か
りました。

博士課程のときは、特に日中の軍事関係を研究
しました。冷戦後アメリカとソ連の二極支配が終
わり、東アジアにおいて力の真空地帯が生じまし
た。そして、冷戦時代の遺産である朝鮮半島と台
湾海峡は再び地域の不安定要因になりました。
1994年から北朝鮮は核開発を始め、台湾は1995年
から独立の意欲が高まってきました。台湾の独立
を阻止するために、中国は軍事力を増強したり、
兵力を沿岸部に配備したりしています。それに対
して、日本は中国が海へ進出するのではないかと、
と不安を感じて、1996年に日米同盟関係を緊密化
しました。中国は被害者意識から日本がまた軍事
大国に成長するのではないかと警戒感を表しまし
た。自国の安全の強化が他国の安全を損ない、転
じて他国の不安を生むという安全保障のジレンマ
は、日中関係悪化の一つの原因だと思います。
2006年から日中間の首脳訪問、軍事部門の対話、
それに軍艦の友好訪問が行われ、二国間の不信感、
警戒感は減少し、日中間の緊張は少しずつ緩和す
るようになりました。やはり交流、コミュニケー
ションが信頼関係を深める最も友好な手段ではな
いと思います。

近年中国は急速な経済成長により、国民のナシ
ョナリズムも急速に成長し、自然に反日の方向に
転化しやすい状態です。また歴史問題に対する日
本の態度は、さらに彼らのナショナリズムを高め
ました。しかし日本と中国は同じ儒教文化圏に属
し、共通の価値観を持っているので、欧米諸国と
比較して仲良くなりやすいと思います。例えば、
「恩返し」思想、世話になった人に必ず恩を返し

ます。5月の四川大地震のときに、日本は中国に多大な経済支援を送り救援隊も派遣しました。その後、中国人の対日本イメージは大きく変わり、強い反日の人たちも日本に感謝の言葉を述べました。若い人は、さらに日本の科学技術や環境保護に注目するようになりました。したがって共通の価値観を持っている両国民は、交流を深めて、誤解や不信感を減らすことができると私は信じています。日中友好の架け橋として私は力を尽くしたいのです。

去年のちょうど今頃、私は先輩から、「ロータリークラブが奨学生を募集しているよ。合格したら、いろいろな立派な人と出会えるので、ぜひ申請してみたら」と勧められました。米山奨学金の申込書を提出してから、ちょうど一年が経ちました。この一年間で、私の日常生活と研究生活はずいぶん変わりました。去年の夏から指導教官が入院され、宿題として私は週に一冊専門書を読んで感想文を先生の家にする、ということになりました。週に一冊専門書を読むためには、大変な時間がかかります。しかし生活費や授業料を払わなければならないので、毎日アルバイトの後に、私は深夜まで勉強していました。博士課程に入学する際に、博士課程はとても難しいのでアルバイトは止めた方がよい、そうしないと博士号が取れずに将来の進路は厳しくなるよ、と先生は教えて下さいました。自分もその点は分かっているのですが、背に腹はかえられず、毎日アルバイトの事ばかり考えていると、博士号を取る自信を少しずつ失いかけていました。アルバイトを減らしましたが完全には止められませんでした。米山奨学金をいただいた後にはアルバイトを完全に止めて、さらに勉強に専念できるようになりました。結果として、今年の大学院の論文集に私の論文は巻頭に収録され、また11月の大学院の発表会ではさらに新しい論文を発表する予定です。こうして博士号を取る自信がますます強くなってきました。

実際、私の先生もロータリークラブについて詳しく知っており、ロータリークラブについて色々なことを教えてくれました。また私を良い意味での見本として、よく学生達に「勉強に専念したら必ず良い成績が取れる」と先生は指導しています。

ロータリークラブの例会にも数回出席させていただき、ロータリーの理念を私はより良く理解しました。世界人口の四分の一を占める中国にロータリークラブが無いと聞いて、不正常だと私は思いました。今年の北京オリンピックのおかげで、中国ではボランティア活動に熱心な人がだいぶ増えてきました。そして将来ロータリーの理念を中国に導入し、開放しつつある中国にロータリークラブを私は創立したいのです。どうぞ、よろしくお願い致します。

以上で私のお話を終わらせていただきます。ご清聴有難うございました。

幹事報告

1. 他クラブの例会変更等

①吉原ロータリークラブ

10月16日（木） 特別休会

②富士ロータリークラブ

10月22日（水） 特別休会

③富士宮ロータリークラブ

10月13日（月） 休日休会

10月20日（月） 夜間例会

10月27日（月） 夜間例会 2クラブ合同例会

11月03日（月） 休日休会

11月23日（月） 休日休会

2. 報告・連絡事項

①富士宮ロータリークラブより

下記の通りメールアドレスが変更になります。
また、HPができましたので、御覧下さい。

・ホームページアドレス

<http://www.fujinomiya-rc.gr.jp/>

・メールアドレス

2620@fujinomiya-rc.gr.jp

-----9月分出席一覧-----

後藤（ 3 ）+1	久松（④）+1	井上（④）+1	栗原（ ④ ）	宮島（ ④ ）	宮口（ 3 ）	本村（ 3 ）
名古（ ④ ）	西島（ 2 ）	西山（ 3 ）	大村（ 2 ）	尾島（ ④ ）	佐野（ 2, 1 ）	芹澤貞（④）+1
芹澤和（ 3, 1 ）	重光（ 3 ）	杉山了（ ④ ）	杉山真（ ④ ）	杉山壽（ 3 ）	鈴木博（ ④ ）	鈴木泰（④）+1
鈴木良（ 2, 2 ）	土佐（ 1, 3 ）	植松（ ④ ）	渡辺（ 3, 1 ）	吉川（ - ）		
			例会出席%	77.88%	地区報告%	85.58%

氏名(ホームクラブ出席数、他クラブ出席数)+超過出席数。丸数字はホームクラブ出席100%を示す。



沼津西ロータリークラブ週報



夢をかたちに

2008～2009年度
第 18 巻 15号
2008年10月16日

● クラブテーマ ●

目指そう、増強と四つのテスト

■■ 本日のプログラム ■■

イニシエーションスピーチ
杉山真一君・重光 純君

例会場：ブケ東海 例会日：毎週木曜日
(18:30点鐘) 第三木曜日：18:30

事務局●TEL&FAX 055-967-2152
事務担当者●川口恵美
Eメール●numawestrc@ny.thn.ne.jp

◆◆第 826 例会 会長挨拶◆◆

鈴木泰次会長

前々回に続き水について話をしたいと思います。
日本は原水から汚染を取らない段階で、塩素殺菌
を行っているので汚染物質が塩素に結合していま
す。

十数年前にダイオキシン（毒性の強い塩素化合
物）騒動がありました。このとき幸い水道水から
はダイオキシンが検出されませんでした。騒動の
副産物として、日本の水道水にはいろいろな発がん
性物質が含まれていることが証明されました。
そこで危険なものは一切使わない「高度処理法」と
いう新しい処理方法が行われるようになりました。
現時点ですでに全国40ヶ所の浄水所で運用されて
います。これはアルミニウムの代わりに活性炭
を使って汚れを吸着させるという方法です。汚れ
が吸着したら新しい活性炭に切り替え、古い方は
取り出して洗って焼直せば何度でも使えます。殺
菌も塩素などと言う危険なものは使わず、オゾン
で殺菌消毒します。発がん性物質がなく安全でお
いしい水だということが分かります。しかし、こ
の「高度処理法」は設備投資が100倍、ランニング
コストが10倍かかってしまいます。財政豊かな東
京都は凄い勢いでこれに切り替えようとしています。

普通の処理法でつくられている日本の水道水ほ
ど見た目は透明でクリアな水はありませんが、残
念ながらある意味では日本の水道水が一番危険か
もしれません。短期間では問題ありませんが、長
期にわたって飲み続けると大変なことになるかも
しれないようなものが、いろいろ入っているの
です。

肝臓は胃、腸で消化吸収された栄養素をバラバ
ラして必要な臓器に送ります。また、吸収した物
質中に危険なものがあると分解してしまう解毒作
用があります。ところがここでのいう有害物質はほ
とんど分解できません。そして肝臓自らが有害物
質を蓄えることになります。量が少ないので、5
年や10年は何の弊害も起きませんが、40年～50
年続けると、危険レベルに達します。健康のこ
とを考えると、早く高度処理法にしてもらいたい
ものです。

ちなみに沼津市の水道水は、清水町柿田の泉の
水源と他に市内15ヶ所の地下水を使っているため
アルミニウムを使うような浄水所はありません。
しかし、塩素を使って殺菌はしています。沼津市
民は危険物質が少ない、比較的良い水を飲んでい
ることになります。健康のために良い水をたくさ
ん飲みましょう。

10月のプログラム

827回 12:30点鐘 ブケ東海 外部卓話
10月23日(木) ケアマネージャー 水田加代様

828回 12:30点鐘 ブケ東海 クラブフォー
10月30日(木) ラム インターアクトについて

11月のプログラム

829回 12:30点鐘 ブケ東海 外部卓話 ロータ
11月 6日(木) リー財団学友会委員 澤口さやか様

830回 12:30点鐘 ブケ東海 イニシエーシ
11月13日(木) ョンスピーチ 尾島康夫君

831回 18:30点鐘 ブケ東海 地区大会報告
11月20日(木) 会長・幹事・新会員

832回 12:30点鐘 ブケ東海 外部卓話
11月27日(木) ぬまづ燦々大使 作家 鈴木英治様

会 長	鈴木泰次	幹 事	久松 但
会報委員長	名古屋良輔	編 集 者	重光 純

出席委員会報告

★出席報告（会員総数25名）

例会	会員数	出席数	MU	出席率
826 回	25名	21名	-	84.00%
824 回	25名	22名	2名	96.00%

●欠席者(4名)

尾島康夫、佐野 稔、鈴木良則、宮口雅仁

●他クラブへの出席者

鈴木博行（10/7 沼津北RC）

●スマイル報告

1. 杉山壽章：誕生日のお祝いありがとうございます。
2. 鈴木博行：結婚記念日のお祝いありがとうございます。
3. 芹澤貞治：結婚記念日のお祝いありがとうございます。
4. 杉山真一：本日は、つたないイニシエーションスピーチをさせていただきます。よろしく、お願いします。
5. 久松 但：12日の合同コンペには出席できず、申し訳ありませんでした。

イニシエーションスピーチ



杉山真一君

まずは、遅ればせながら当沼津西ロータリークラブに迎えていただき心からお礼申し上げます。7月10日に入会し、現在入会后三か月が経過しました。

私の生い立ちなどを、お話したいと思います。私は、昭和47年7月8日沼津市一本松で生まれました。その後、小・中・高と原で育ち大学は鹿児島県の国分市にある第一工業大学の工学部建築科に入学しました。

2年生の中盤ぐらいから、あのバブル経済も陰りを見せ始め、かなりの就職難で多数の就職浪人が出る中、縁あって東京都の新宿区にある大手ゼネコンの大林組の子会社である桂城建設㈱に入社することができました。良い上司や先輩、理解ある社長に恵まれ色々な経験をさせていただきました。

3年間勤めた後に家業であるコア建設㈱に入社し、平成16年1月に代表取締役役に就任しました。お客様との信頼関係を大切にを理念にお客様の建てるをサポートし作り上げる事を建築と考え多くのお客様との出会い住む人の生活に合う心の安らげる素敵な住まいを作ることをモットーに日々努めております。

初心者の私ですが今後とも会員の皆様にお引立てください。よろしくお願いいたします。



重光 純君

本年8月より沼津西ロータリークラブに入会させていただきました重光純と申します。

私は、東京都新宿区に生まれ、その後ずっと東京で育ちました。それが、司法修習のため静岡県地方裁判所に配属され、沼津市での修習の際に妻と出会ったことから、平成18年5月から岳父の事務所で稼働するようになりました。

まだまだ沼津に不慣れなことから、沼津の異業種の方々との交流ができ、さらに地域のために何か貢献できる機会があればよいと漠然と考えていたところ、久松但先生にご紹介いただきまして、これ幸いと入会させていただきました。

現在、日弁連は、急激な弁護士の増加に対応できないという大きな問題を抱えておりますが、私としては、自分自身の業務に注力していくほかなく、その上でロータリークラブでの活動を通じて地域に貢献していきたいと思っておりますので、会員の皆様におかれましては、ご指導ご鞭撻賜りますようどうぞ宜しくお願い申し上げます。

幹事報告

1. 他クラブの例会変更等

- ①新富士ロータリークラブ
10月28日（火）→26日（日）
ウォーキング例会 於：西沢溪谷 9:00より
11月11日（火）→09日（日）
サイエンスプロジェクト イン フジ
於：富士北公民館 10:00より

- ②沼津柿田川ロータリークラブ
11月03日（月）休会（文化の日）
11月10日（月）→9日（日）
シニア&ジュニアグランドゴルフ大会
11月17日（月）→23日（日）
清水町ふれあい広場参加
11月24日（月）休会（勤労感謝の日振替）

2. 報告・連絡事項

- ①10月26日千本浜清掃の、奥様方の参加が少ないようです。多数の参加をお願いします。
②ガバナーエレクト事務所より、次年度地区役員・委員の推薦依頼が届いております。



沼津西ロータリークラブ週報



夢をかたちに

2008～2009年度
第 18 巻 16号
2008年10月23日

● クラブテーマ ●

目指そう、増強と四つのテスト

■■ 本日のプログラム ■■

外部卓話 ケアマネージャー 水田佳代様

例会場：ブケ東海 例会日：毎週木曜日
(12:30点鐘) 第三木曜日：18:30

事務局●TEL&FAX 055-967-2152
事務担当者●川口恵美
Eメール●numawestrc@ny.thn.ne.jp

◆◆第 827 例会 会長挨拶◆◆

鈴木泰次会長

世界で毎年九州と四国を合わせた広さの土地が砂漠化しているそうです。各国がさまざまな対策に取り組んでいますが、気候変動、森林破壊、土壌侵食などの原因が絡み合い砂漠化の進行は止まりません。

アフリカのウガンダとの国境に近いケニア西部の農村の話ですが、この地域は、10月から12月の小雨期と3月から5月の大雨期の2回の雨期がありますが、2004年から干ばつが続くケニアでは05年は小雨期にほとんど雨が降りませんでした。マサイ族など遊牧民の家畜が餓死し、穀物や野菜も育たなかった為、一時は人口3240万人のうち、約500万人が食糧不足に直面しました。

その深刻さを知った日本のNPO「横浜アートプロジェクト」鎌倉市榎田竜路理事長は2006年、粘土団子による緑化プロジェクトを実行しました。現地の女性80人ほどを集めて、粘土団子の作り方を教え、それを蒔くよう指導しました。1週間ほどの作業ですが、一人600ケニアシリング（1000円）の作業費を払いました。そのお金が、人々の食費代の足しになり現地の人にも喜ばれました。まかれた粘土団子から芽を出した芽は6ヶ月で60から120センチメートル位になるようです。しかし、全部が芽を出すわけでもなく、芽を出しても動物の被害にあったり、大きくなると薪にされてしまうものかなりあるようです。この砂漠化を食い止めるには、もっと大規模に一度にやらないと、とても食い止めることはできません。それには、金と人手が必要になります。

現在ケニアでは、国土面積に占める森林の面積は2%（日本は66%）に満たないそうです。政府もこの方法により砂漠の緑地化に取り組んでいま

す。発展途上国の多くはこのような状況にあるようです。

この、粘土団子は自然農法の研究家福島正信氏が考案したもので、植物の種を粘土で包み、直接地面に蒔く。粘土によって、鳥や虫に食べられることや、乾燥から種が守られる。地面と接した部分では、昼夜の温度差で結露が生じ、種に水分を補給して発芽しやすくなる。

福島氏の話では、雨を降らせるには1万ヘクタール（10キロメートル四方）の土地を緑化すれば、植物から水蒸気が上がり雲ができ雨を降らせることができるそうです。すでにインド、タイ、ギリシャなどで大規模な緑化に効果を挙げています。

世界のあちこちで、紛争が起き多くの方が犠牲になっていますが、人殺しに使っているお金の一部を世界の緑化推進に使えば、世界はもっともっと暮らしやすくなるのですが。人間の愚かさは永遠に続くのでしょうか。

10月のプログラム

828回 12:30点鐘 ブケ東海 クラブフォーラム
10月30日(木) インターアクトについて

11月のプログラム

829回 12:30点鐘 ブケ東海 外部卓話 ロータリー財団学友会員 澤口さやか様
11月 6日(木)

830回 12:30点鐘 ブケ東海 イニシエーション
11月13日(木) ヨンスピーチ 尾島康夫君

831回 18:30点鐘 ブケ東海 地区大会報告
11月20日(木) 会長・幹事・新会員

832回 12:30点鐘 ブケ東海 外部卓話
11月27日(木) むまづ燦々大使 作家 鈴木英治様

会 長	鈴木泰次	幹 事	久松 但
会報委員長	名古屋良輔	編 集 者	重光 純

出席委員会報告

●ゲスト

1. ケアマネージャー 水田佳代様

●ビジター

1. 内田文喬様：沼津北RC

★出席報告（会員総数25名）

例 会	会員数	出席数	MU	出席率
827 回	25名	20名	-	80.00%
825 回	25名	18名	2名	80.00%

●欠席者(5名)

井上武雄、西島邦彦、佐野 稔、鈴木博行、土佐通孝

●スマイル報告

1. 芹澤和子：水田佳代さん、卓話よろしく、お願い致します。
2. 西山幸三郎：結婚記念日のお祝いありがとうございます。
3. 栗原侑男：結婚記念日のお祝いありがとうございます。
4. 宮口雅仁：結婚記念日のお祝いありがとうございます。
5. 鈴木泰次：結婚記念日のお祝いありがとうございます。
6. 宮口雅仁：妻の誕生日のお祝いありがとうございます。
7. 久松 但：26日の千本浜清掃への、参加をお願いします。
8. 鈴木良則：先週、欠席させて頂きました。
9. 杉山壽章：遅れて、すみません。

外部卓話



認知症という言葉を知っていますか？

ケアマネージャー 水田佳代様

1) 認知症とは、どういうものか？

私達のほとんどの活動をコントロールしているのは「脳」です。脳は、活動コントロールの司令塔です。それが上手く動かなくなると精神活動も身体活動もスムーズに運ばなくなります。認知症とは、いろいろな原因で脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったために様々な障害が起こ

り、生活していくのが困難な状態(およそ6か月以上継続)を指します。

認知症を引き起こす病気は大きく分けて二つあります。

①アルツハイマー型認知症

脳の神経細胞がゆっくり死んでいく「変性疾患」と呼ばれる病気です。

②脳血管障害による認知症

脳梗塞、脳出血、脳動脈硬化などのために、神経の細胞に栄養や酸素が行きわたらなくなり、その結果その部分の神経細胞が死んだり、神経のネットワークが壊れてしまう脳血管性認知症です。

2) 認知症の症状

脳の細胞が壊れてしまうと、今まで培われてきた様々な記憶がなくなってしまうのです。つまり記憶の障害が起きてくるのです。それと同時に、今どこにいるのか、季節は、時間は？、というような見当がつかなくなる見当式障害。これが何なのか、どうしてそうなるのか、理解ができない、また、どっちがいいのかわからない判断力の低下。ぐずぐずとちっとも何かをやり遂げられなかったり、冷蔵庫にある同じ物を何日も続けて買ってきたりを繰り返す実行機能の低下。これらの症状のために周囲で起こっている現実を正しく認識できなくなります。このような症状を中核症状といいます。

また、本人がもともと持っている性格、環境、人間関係など様々な要因が絡み合って、うつ状態や妄想のような精神状態や日常生活への困難を生じる行動上の問題が起こってきます。これらを周辺症状と呼んでいます。

3) 周辺の人が疲弊する精神症状

幻覚、妄想、抑うつ、夜間せん妄がひどくなってくると、なくした物を盗まれたと思い込む、しまった場所を思い出さない、またこれも盗まれたと思い込みます。

このような症状が出てしまうと傍で世話をしている人が一番被害を受けます。一生懸命お世話をしているのに疑われてしまうわけです。周囲の人はあまり深刻にならず、疑われている介護者が疲弊しないよう心理的な支援をすることが大切です。なくし物が出てくればそれで収まる妄想です。このような症状が始まったら専門医に相談しましょう。抗精神病薬が効果を上げることが少なくありません。

4) 認知症介護をしている家族の気持ちを理解する

認知症介護は目に見えない介護と呼ばれています。肢体不自由者と違い大変さが他の人にわからないのです。まず家族が認知症にかかったら、戸惑います。そしてどう対応してよいのか分からず

混乱したり、怒ってしまったり、顔も見たくないと拒絶したりと、最も辛い時期に陥ります。

この時期には家族だけで苦まず、様々な情報を集め、医療・福祉・地域社会から適切に援助・協力を得れば在宅でも十分やっていけるのではないかという気持ちに変化し始めます。そして、怒ったり、イライラしても何のメリットはないと割り切れるようになってきます。すると、症状は同じでも介護者にとって、関わっていくことの問題が軽くなってきます。さらに、認知症の人の心理を介護者自身が自然に受け止められるようになります。認知症の人は何もできないわけではありません。家族や介護者が用意し、しっかり見守ってあげれば、難しくなければ料理もお裁縫も買い物だってできます。

共に生きる、共生、共存です。

5) 認知症の予防(脳の活性化を図ること)

よく人と話すこと、その日の出来事を振りかえり次の日につなげること、運動する(歩く)、食事はしっかり摂る(食べ過ぎは禁物)、水分は一日に1,200cc摂る、頭の体操をすること、お酒落でいること、ニュースに気を配り世の中の動向に目を向けること、楽しく暮らすこと。

認知症は誰にでも起こりうる病気です。長寿大国の日本にとって、団塊の世代と呼ばれる人たちも、前期高齢者に突入します。長く人間をやっているれば脳もくたびれてきます、少く動作用が鈍くても、物忘れすることが多くなっても、人間としての価値に変わりはありません。私たちの人生の先輩でもあり、青春時代を戦中、戦後という大変な時期で向かえ、今日の日本を築いてきた先駆者です。どうか暖かい目で見てください。近隣で、このような人を見かけたらぜひ、支援して頂きたいとお願いいたします。

幹事報告

1. 他クラブの例会変更等

①富士宮西ロータリークラブ

10月31日(金)→27日(月)

2クラブ合同例会の為 於:パテオン

11月07日(金)

米山梅吉記念館訪問の為 例会場変更

2. 報告・連絡事項

①10月26日千本浜清掃の、奥様方の参加が少ないようです。多数の参加をお願いします

千本浜清掃活動

去る10月26日(日)に、千本浜の清掃活動が行われましたので、以下のとおり写真にてご報告申し上げます。

参加者の皆様、お疲れ様でした。





沼津西ロータリークラブ週報



夢をかたちに

2008～2009年度
第 18 巻 17号
2008年10月30日

● クラブテーマ ●

目指そう、増強と四つのテスト

■■ 本日のプログラム ■■

クラブフォーラム インターアクトについて

例会場：ブケ東海 例会日：毎週木曜日
(12:30点鐘) 第三木曜日：18:30

事務局●TEL&FAX 055-967-2152
事務担当者●川口恵美
Eメール●numawestrc@ny.thn.ne.jp

◆◆第 828 例会 会長挨拶◆◆

鈴木泰次会長

ロータリーにおいて、10月は職業奉仕、米山月間になっております。よくロータリーの原点は職業奉仕にあるといわれます。各々が自分の職業をもって社会に奉仕すること。一般的には我々は職業によって収入を得て生活をしているわけで、それがどうして奉仕になるのか解りませんでした。

私は奉仕とは、見返りを期待せず労力等を提供し相手のためになることを行うことが奉仕だと思っていました。しかし、ロータリーという職業奉仕は違うものだと感じました。普通に仕事をし、普通に対価を得る。これがロータリーという職業奉仕だと思ふようになりました。

ロータリーには二つの公式標語があります。第1標語として「超我の奉仕」、第2標語として「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という標語があります。「超我の奉仕」とは自己のために利益を得ようとする欲望と、他人に奉仕しようとする義務感と、それに伴う衝動から起こる心の争いを和解させようとするロータリーの根本的な理想を効果的に表現しているといわれます。第2標語の「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」とは奉仕は報酬の基本である言う根本的な真理と理想を教えたものであるといわれております。この二つの標語を考えると私には理解することが難しいものがあります。私もロータリアンとして、まだまだ未熟なものを感じます。

また、職業奉仕については、「事業および専門職務の道徳的水準を高め、あらゆる有用な業務は尊重されるべきである」という認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理想を生かしていくという目的を持つ。会員の役割には、ロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行うことが含まれる。」とあります。今に始まったことでは

ありませんが、毎日のように企業、個人の不幸事が報道されています。そのたびにトップが謝罪会見を行っている有様です。また、すぐにもばれる様な「うそ」を言っている者もいます。私が残念に思うのは、その中にロータリアンと呼ばれる人たちがいることです。まさに「奉仕の理想」をないがしろにしている行為であります。

最近の不幸事は多くの場合、内部告発によって表に出てきているものが多くなっているようです。今の日本では、内部告発が生まれるような土壌があります。平成18年4月から「公益通報者保護法」が施行されました。内部告発の是非については国が保護しておりますので、内部告発があってもおかしくない時代です。自分のところは大丈夫だと思っはいけない時代になりました。また、昔と今では労使関係が変わってきています。終身雇用制度も影が薄くなり、従業員も会社に対する思いが薄らいでいることは事実だと思います。

今の世の中、競争社会になり人の心に余裕がなく、希望も持たなくなりつつあります。このような時代こそ「ロータリーの理念」をもう一度噛み締め、自分自身の行動は「四つのテスト」に照らして行いたいと強く思います。

11月のプログラム

829回	12:30点鐘	ブケ東海	外部卓話	ロータ
11月 6日(木)			リー財団学友会委員	澤口さやか様
830回	12:30点鐘	ブケ東海		
11月13日(木)			会員卓話	宮島賢次君
831回	18:30点鐘	ブケ東海	地区大会報告	
11月20日(木)			会長・幹事・新会員	
832回	12:30点鐘	ブケ東海	外部卓話	
11月27日(木)			ぬまづ燦々大使	作家 鈴木英治様

会 長	鈴木泰次	幹 事	久松 但
会報委員長	名古良輔	編 集 者	重光 純

出席委員会報告

●ビジター

1. 砂田嘉正様：沼津RC
2. 奈良橋篤様：沼津北RC
3. 山本倫弘様：沼津北RC

★出席報告（会員総数25名）

例 会	会員数	出席数	MU	出席率
828 回	25名	22名	-	88.00%
826 回	25名	21名	3名	96.00%

●欠席者(3名)

西山幸三郎、尾島康夫、渡辺亀一

●他クラブへの出席者

鈴木良則（10/24 裾野RC）

久松 但、栗原侑男、宮口雅仁、本村文一、
西山幸三郎、尾島康夫、杉山真一、杉山壽章、
鈴木泰次、植松 正、渡辺亀一
（10/26 千本浜清掃）

●スマイル報告

1. 奈良橋篤様（沼津北RC）：よろしくお願ひします。
2. 栗原侑男：西島さん、バーベキューのお肉おいしかったです。ありがとうございました。
3. 本村文一：誕生日のお祝ひありがとうございました。
4. 杉山真一：妻の誕生日のお祝ひありがとうございました。
5. 名古屋良輔：妻の誕生日のお祝ひありがとうございました。
6. 本村文一：入会記念日です。
7. 鈴木良則：朝夕、寒くなりました。先週お休みを頂きました。
8. 佐野 稔：海外出張の為、欠席が多くご迷惑をおかけしました。
9. 久松 但：26日の千本浜清掃、ご苦労様でした。

クラブフォーラム

幹事 久松 但

インターアクトクラブ設立について、クラブフォーラムを行いました。

まず、井上武雄副会長から、10月21日に久松但幹事とともに加藤学園を訪問し、生徒会顧問の松本英教先生と面談を行ってきた内容について報告していただきました。

加藤学園高校からは、従来より生徒会を中心にボランティア活動を行っており、この活動を校内のクラブ活動として行っていきたいことや、ロータリークラブの中にインターアクトクラブという組織形態があることを知り、ロータリークラブとともにボランティア活動ができるのであれば、よりよい活動ができるのではないかと考えたことなどの話しを伺いました。

一方、クラブ側からも簡単なインターアクトクラブについて説明をしたところ、定款や細則などを作らなければならないことや国際ロータリーの認証を受けなければならないことなどを知り、驚かれています。

また、加藤学園高校のどなたかにロータリークラブに入会をしていただければ、連絡等スムーズに行くのではないかと話もしてまいりました。

鈴木博行君からは、沼津北RCの元会員である加藤正秀理事長からも、是非インターアクトクラブの設立をお願いしたいとの話しを伺ったことなども報告していただきました。

人の手当や資金面などまだまだ課題は多いのですが、設立に向けて、具体的な予算立てや設立のためのスケジュールなどを準備委員会の方で検討し、これを会員に提示をして次回以降、また検討するという事でフォーラムを終了しました。

幹事報告

1. 他クラブの例会変更等

①長泉ロータリークラブ

11月19日（水） 夜間例会

（スポーツ例会・ボーリング大会）

11月26日（水） 職場訪問

2. 報告・連絡事項

①地区大会出席の方は、登録料をお願いします。

②地区大会（11月16日（日））の件

登録受付9:00、開会 9:40です。

沼津8:09→原8:16→静岡9:04

前から2両目の車両にご乗車願います。